

令和元年度 第3回 木曾川水系流域委員会 議事要旨

日 時：令和元年9月30日（月）15：30～17：00

場 所：プライムセントラルタワー名古屋駅前店
13階 第3+4会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 話題提供

- ・ 令和元年9月4日～5日三重県北部の大雨による木曾三川下流域の出水状況について

4. 議題

- ・ 河川整備計画の変更項目の骨子（案）について
 - 木曾三川下流部における地震・津波対策について
 - 長良川遊水地における環境について
- ・ 今後の予定について

(1) 木曾三川下流部における地震・津波対策について

主な意見は以下の通り。

- ・ 地震や津波で対象とする外力の規模の表現が分かりづらいため、住民説明をする際には何が何に対応する外力であるのかをわかりやすく整理すること。堤防はどのような規模の地震を対象に液状化から守るのか、などわかりやすく整理すること。また、整備計画で対象としているレベルがどの程度かもわかり易く説明する必要がある。
- ・ 想定最大の津波が発生した時のことも考えておくことが重要である。

(2) 長良川遊水地における環境について

主な意見は以下の通り。

- ・ 今回報告された調査結果については、その手法等が希少種の生態を意識したものとなっており、精度の高い結果であると考えられる。その結果から遊水地整備箇所だけでなく、長良川中流域全体が希少種にとって良好な環境となっていることが推測される。一方で、希少種の生態にとって、その存在が望ましくない国内外来種も確認されており、その影響が懸念される。
- ・ 施工時における土砂流出・濁水等への対策を検討する必要がある。また、現時点の計画において低水路以下の改変はないとのことだが、希少種の生息環境周辺を改変する必要性が出てきた場合においては、相応のミチゲーション等が必要になると推察されるため、岐阜県や教育委員会等、関係行政機関と連携して対応すること。

- ・ 長良川遊水地については、引き続き横越地区、池尻地区の2カ所において、環境の専門家等からの意見を参考にしつつ、施工方法等について検討していくこと。
 - ・
- (3) 令和元年9月4日～5日三重県北部の大雨による木曾三川下流域の出水状況について
主な意見は以下の通り。
- ・ 肱江川の洪水が水位低下対策によって抑えられたということを一方向けにも説明していった方が良い。
- (4) 木曾川水系河川整備計画変更に向けた今後のスケジュールについて

4. 閉会

以 上